

科目名 (Eng)	新事業開発 I (New business development I)								
担当教員	松本 行真								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	各専攻共通 専門関連科目	1	前期	必修	2	(30)	関連	B	○
目標基準 との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-4), (C-1), (C-3), (C-6) 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2), 3). JABEE基準1 (1) との対応：【機械電気/物質環境】(d)-(1), (d)-(2)-d), h【ビジコミ】d(1), d(4),								
授業の概要と方針	市場ニーズをどう見出して、技術とマッチングさせ、事業化、商品化していくか。その手法とプロセスについて学んだ上で、チームによりアイデア探索を行う。								
到達目標	学ぶ点は以下の通り。 ①新事業開発のプロセス ②調査企画の作り方③情報収集のやり方とまとめ方								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
前期	1	イントロダクション	新事業開発とは				提示課題の作成 (以下同)		
	2	新事業開発とは何か							
	3	新事業開発のプロセス	新事業開発のためのフレームワーク						
	4		市場機会探索の方法						
	5		事業機会評価の方法						
	6		開発戦略シナリオの作成方法						
	7								
	8	開発立案とリサーチ	定量的アプローチの方法						
	9		定性的アプローチの方法						
	10	開発テーマ探索	実習の進め方、情報収集とまとめ方						
	11								
	12	開発テーマ発表	アイデア創出方法						
	13	新事業アイデア探索							
	14								
	15	商品コンセプト素案発表							
試験について	前期期末試験 (100分) を実施する。 再試験受験の条件：全ての課題を所定の日時まで提出してあること。								
評価方法	前期期末試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。								
教科書	『製品・新事業開発の創造的マーケティング 開発情報探索のマネジメント』、石川編、生産性出版								
参考書	①『マーケティング・サイエンス入門』、古川・守口・阿部、有斐閣アルマ ②『新事業開発の論理と実際』、竹山元一、日本マーケティング研究所								
関連科目	新事業開発Ⅱ、創造工学演習、物質・環境システムデザイン演習、ビジネス創造演習								
履修上の注意	創造工学演習、物質・環境システムデザイン演習、ビジネス創造演習との連携で行う。 自学自習の確認方法：授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。								